



● 会津藩校 日新館

会津藩校・日新館は、人材の育成を目的に1803年に建設されました。全国300藩校のなかでも、規模・内容ともに有数といわれ、幕末には白虎隊をはじめ多くの優秀な人材を輩出しました。座禅や弓道体験などを通して「ならぬことはならぬ」に象徴される礼節を重んじた会津の教えを学ぶことができます。



● 会津班別自主研修

歴史と伝統が息づく会津若松市内は、班別自主研修にぴったりのスポット。鶴ヶ城や飯盛山、武家の暮らしを知ることが出来る会津武家屋敷など、周遊バス「ハイカラさん」を使って気軽に回ることができます。また、市内には伝統工芸品の店も数多くあり、絵付け体験などでオリジナルのお土産を制作することもできます。さらに詳しく知りたいときは、地元のボランティアガイド(要予約)がお助けします。



● 大内宿

会津五街道の一つで、会津若松と日光街道の今市を結ぶ下野(しもつけ)街道の宿場町。参勤交代の大名行列が通りを行き過ぎ、立ち寄った旅人が茶屋で一服する、そんな江戸時代の風景を今に残す町並みは、まるで時間がとまったかのようです。



● 野口英世記念館

千円札の顔となった野口英世。その世界的な医学者の生い立ちや、数々の功績に触れることができます。少年時代を過ごした生家には、1歳半のときに火傷をした囲炉裏や上京への決意を刻んだ床柱などが当時のまま残されています。母・シカが息子・英世に宛てた手紙にも心を打たれます。



● 大内宿の郷土料理

「ねぎそば」「とちもち」「しんごろう」は、大内宿で味わえる郷土料理。子孫繁栄の縁起物として祝言の席で振舞われたという「ねぎそば」は、添えられた1本のねぎを箸代わりに食べます。とちもちは、ほのかな苦味と餡の甘さが絶妙。囲炉裏端からは、半つきにしたうるち米を丸めて自家製のじゅうねん味噌を塗り、炭火で焼いた「しんごろう」の香ばしい香りが漂います。

